

科目名 Course Name	生産管理 Production Management			ナンバリング No.	C3-008		
年次	2年	期別	前期	単位数	2単位	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	C-ラーニングにて対応、オフィスアワー:研究室 月～木曜 (授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>市場や顧客がグローバル化して複雑化しているなかで、競争に勝つための経営戦略とリンクした生産管理を意識していく必要がある。本講義では生産管理の代表的な手法と標準化をテーマとし、生産管理や標準化の成立過程にも目を向けて、将来の生産管理の在り方や課題を認識することをねらいとする。具体的には、製造業経営における生産管理の基礎と役割を学習した上で、生産予測、資材調達、生産指示などの主なオペレーションを有効に行う基本的な考え方や手法に関する学習とグループワークを行う。</p> <p>①製造業経営における生産管理機能について説明できるようにする。  ②生産管理オペレーションに係る基本的な理論、モデル、及び生産管理の代表的な手法と標準化を身につけられるようにする。  ③将来の生産管理の在り方や課題を認識できるようにする。  ④ディスカッションを通じて、他者と自分の考えや認識の違いを認識したうえで、より良い解決策を模索できるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、生産管理に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①製造業経営における生産管理機能について説明できる。 ②生産管理オペレーションに係る基本的な理論、モデル、及び生産管理の代表的な手法と標準化を身につけられる。 ③将来の生産管理の在り方や課題を認識できる。 ④ディスカッションを通じて、他者と自分の考えや認識の違いを認識したうえで、より良い解決策を模索できる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、C-Leaning 等で個別にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[生産管理 2022 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点 やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務 経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:42 年)、実務経験を生産管理活動の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の 3 点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	S のレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月 1 回計 3 回提出予定(締切は各月末)。			30	

佐野日本大学短期大学 2022 年度シラバス

<b>発表</b>	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20	
<b>小テスト</b>	毎時間実施。成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
<b>試験</b>	16週目に実施。成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
<b>その他</b>					
<b>合 計</b>				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	製造業の様態、設計管理プロセス。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	製造業経営の基本、生産計画プロセス1 小テスト。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	生産管理の目的、生産計画プロセス2 (グループワークによるプレゼンとディスカッション①)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	生産管理の仕事、生産計画プロセス3。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	月度生産計画の作り方、生産計画プロセス4 小テスト。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	生産方式の分類、生産統制プロセス(品質管理)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	生産情報システム、生産統制プロセス(工程管理)(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	生産現場で働く人々、標準化の歴史:国際標準化戦略を考える①。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	生産イノベーションの基本構造、標準化の歴史:国際標準化戦略を考える② 小テスト。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	改善活動の仕組み、QC七つ道具1。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	グローバルバリューチェーン、QC七つ道具2 小テスト。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	原価管理(グループワークによるプレゼンとディスカッション③)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	ABC 会計1。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	ABC 会計2、まとめと総括、小テスト。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。